

藤木しんや氏の活動報告

(参議院議員選挙全国比例代表)
 全国農政連推薦・熊本県農政連公認候補)

藤木しんや氏は、組合長を務めるJAかみましき管内(益城町)を震源とする震度7の強震が直撃した4月14日は、岐阜県内のJAを巡回中でした。被害が甚大であることを知った藤木氏は、急遽15日以降の予定をキャンセルし、早朝に地元JAかみましきへ戻り、JA内に対策本部を立ち上げ、管内の被害状況を確認し災害対応の陣頭指揮をとりました。

JAかみましきは、各支所を中心に被害状況の確認を急ぎながら、行政と連携した支援に乗り出しました。15日には避難所での食料不足に7500kgの米を益城町に提供、県内のJAから届いた飲料水やブルーシートを、避難所に送る作業にも追われました。藤木氏は、地元JA組合長として



▲地震で陥没した田植え前の農道を見回る藤木組合長(4月15日)日本農業新聞提供



▲被災者宅をまわり励ます藤木組合長



▶避難所への救援米を搬入する藤木組合長

しつかり現場対応を行うべく、農業やJA施設の被災状況を実際に確認しつつ、被災された農家一軒一軒をバイクでまわり励ましました。4月21日JA全国中央会の奥野会長

▼奥野全中会長・梅田会長と被災現場にて



▲奥野全中会長に管内の被災状況を説明

衛会長が、被害状況を把握するため熊本県入りしました。梅田JA中央会会長と藤木しんやJAかみましき組合長から、被害状況の説明を受けました。藤木組合長は「支援物資が、個別に避難している人に届いていない」ことから、人員派遣を強く求めました。全国の災害対策本部(本部長奥野全中会長)は、24日から、各県から募集した支援隊を被災各地へ派遣する



▲▲森山大臣に被災状況を説明する藤木組合長

こととなりました。5月2日、森山農水大臣は、JAグループの要請を受けた後、被災したJA菊池のカントリーエレベーターや牛舎が倒壊した畜産農家、農業用ため池などの施設を視察し被害状況を調査しました。農相は、その後、藤木組合長を訪ね、藤木組合長は、「この度の震災被害を契機に農業を継続することを諦める農家が出て来ることを一番懸念する」ことを訴えました。森山大臣は、「被災状況の確認を急ぐとともに迅速な復興に尽力する」ことを重ねて述べました。